

MDJ アライアンスメンバー・ブース施工担当

シンクロ・日本

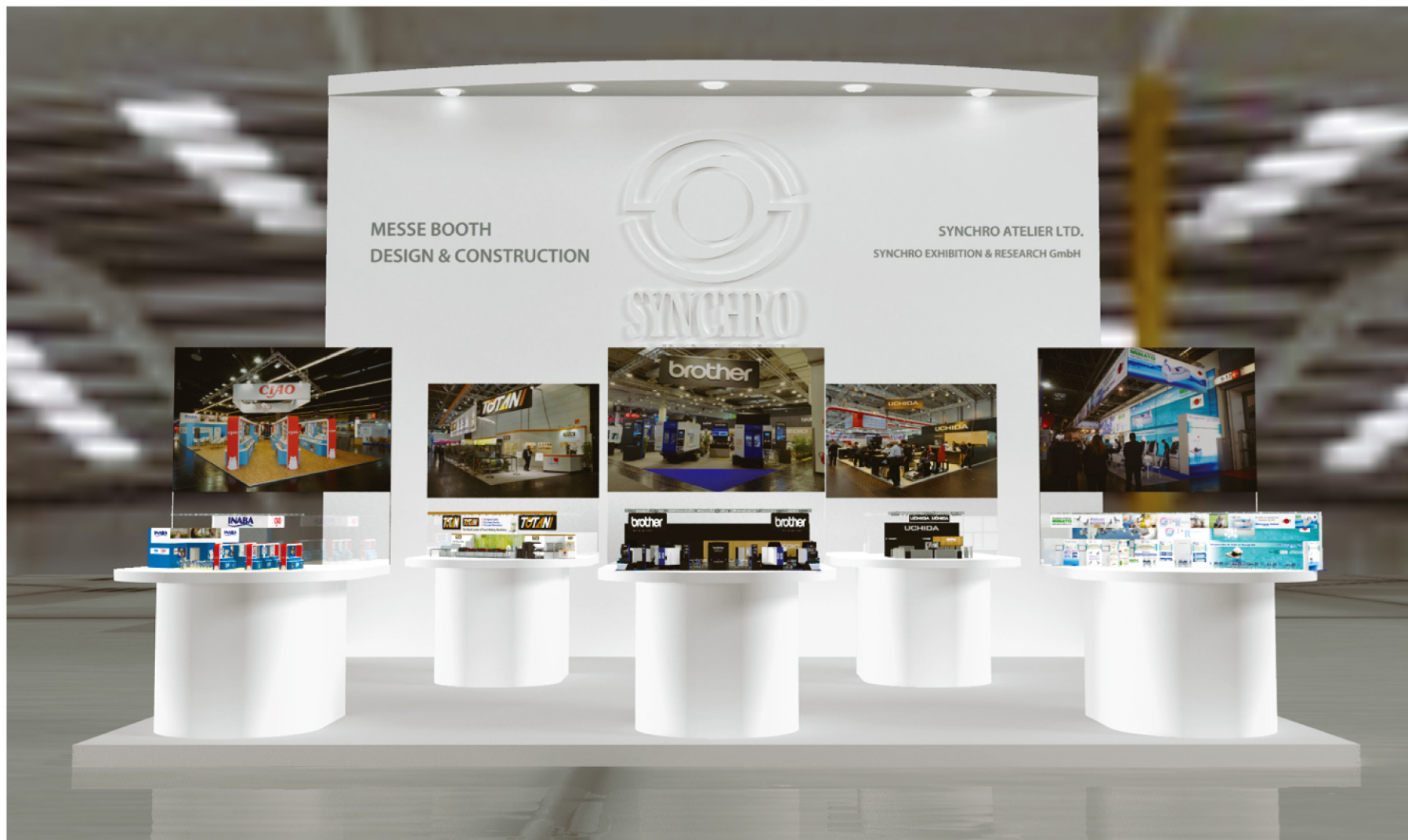


株式会社シンクロ・アトリエ

シンクロ・ドイツ



Synchro Exhibition & Research GmbH



業務の流れ

シンクロ・アトリエ

シンクロ・ドイツ

- ブース詳細打合せ
- **図面作成**
- ドイツ事務所への**正確な情報伝達**

- 施工業者との打合せ & ブース仕様共有
- 事務局に必要アイテムの申請

出展社

メッセ会場

- ブース設営時の現場監督（日本語対応）

ブースについて



<Point>

- ブース情報を正確に現地に伝える
 - 出展社を主役にデザイン
 - 施工スケジュール
- 情報の図案化
- 出品物のわかりやすい配置とコストを考慮したデザイン
- 開催日前に予備日が出るようにブースを完成
- 確実な施工

- シンクロの特徴 -

私たちシンクロの特徴は日本とドイツに拠点を持ち、連携して展示会業務を行っていることです。ドイツ代表とは90年から10年間共にブース施工業務に従事し、2000年にそれぞれ日本とドイツでシンクロを設立いたしました。そして現在にいたるまで欧州展示会への出展をサポートしています。

業務の流れは、シンクロ日本がお客様と打合せて図面を作成し、シンクロドイツはその図面をもとに現地施工会社と綿密な打ち合わせを行い会場ブースを作成するという流れになります。現場ではドイツ担当者が日本語で対応させていただいておりますので、日本と同様のコミュニケーションが可能です。また一つの展示会にお客様が集中した場合には、日本からも現場に行ってサポートいたします。

- ブースについて -

ブースを確実に建てるためには、日本の情報を現地までいかに正確に伝えるかという点にあります。これまでのいろいろな経験から、全ての情報は絵にして図面にまとめることで確実にブースを建てるのが可能になりました。最終図面ができた段階でブースの90%は完成出来るという感覚ですが、それでも現場では何が起きるかわかりません。もし現場で追加や変更があった場合でも、臨機応変に対応させていただいています。

ブースレイアウトを作成する際に気をつけていることは、出展社を主役としてレイアウトすることです。出品物の配置は見やすく、スムーズに見て回ることができるようにすることを心がけており、全体装飾はコストを念頭においたうえでシンプルでわかりやすく統一感のあるブースデザインになるよう努めています。出展社のみなさまが継続してご出展いただくためにも、コストを考慮することは大切なことのひとつだと考えています。ブース仕様は大きく分けてシステム材ブースと木工手作りブースの2種類がありますが、最近はシステムブースでありながら見栄えのする工夫も進んでいます。

施工スケジュールは、当社では出展社の皆様が会場入りされる前までにグラフィックなどの一部作業を除いてブースを完成させることを基本としており、開催日までに出品準備や全体チェックを行える時間が持てるように予定いたします。

- 現状について -

昨今いろいろと厳しい状況が続いておりますが、どのような規模のブースであれお客様に満足いただけるよう、ブースプランを一緒に考えられたらと思います。ただ現地ワーカー不足が懸念されますので良質な施工業者を確保するためにも、業者選定は早めに行っていただくことをおすすめいたします。

- メッセ・デュッセルドルフについて -

メッセ・デュッセルドルフは欧州のどの展示会場よりもいち早く施設の充実とサービスの効率化を行い、出展者のみなさまが出展しやすい環境を整えている会社です。またドイツ国外の展示会も積極的に展開されておりますので、海外進出のプラットフォームとして是非ご活用ください。なお当社は人員的な事情もあり欧州展示会を優先させていただいておりますので、どうかご理解いただきますようお願いいたします。

これまで培ってきた経験と知識は出展社のみなさまに還元するべきと考えておりますので、ブースについてご質問等がございましたらお気軽にご相談ください。よろしくお願いたします。

株式会社シンクロ・アトリエ